



なでしこ

『大宮中精神:優しさをもって、夢や目標に向かって、挑戦する若者であれ!』

3/18 (月) 卒業式校長式辞(抄録) 『人はなぜ学ぶのか』の話

～正解のない問いに答えを出すため～

(前略)さて、卒業式は最後の授業です。最後の授業のテーマは『人はなぜ学ぶのか?』。この問いに対する正解はありません。百人いれば百通りの正解があります。私が思う『なぜ学ぶ?』は、『正解のない問いに答える力をつけるため』です。私たちは中学校では、とすると各教科の授業で正解のある問題に取り組んで、答えを出す訓練をする場所と思いがちです。例えば数学では必ず正解があります。とてもスッキリしていてモヤモヤ感はありません。しかし、それだけではありません。例えば各教科で学んだ知識や技能を活用して、横断的な発想で複雑な課題に挑戦する事も学びましたね。二年生で学んだ起業家学習が、正にそれに当たります。チャレンジ精神、創造力、チーム力などを学びましたね。実は起業そのものはノウハウがあれば意外に簡単ですが、創業5年後には半分しか生き残れない現実があります。

先を読む洞察力、時代の流れを深く理解する力、変化の速さについていく力が必要で、全て正解を求める挑戦の連続で、皆さんはその一端を学びました。また、授業以外の活動では、まずもって正解はありません。対立した人間関係を悩みながら修復すること。学校行事などの取り組みに、達成感や感動を追求すること。様々な問題に仲間と知恵を絞り、より良い答えを求めて絆を深めてきたはず。こうした正解のない問いに、答えを探す全てが大切な学びであり、皆さんが考えて行動する力の源となってきたのです。

この春、卒業生の皆さんの前には、大宮中学校の狭いエリアから、新たなステージに立ち、その先に社会人としての世界が広がっています。TVのクイズ番組には、どんな難問にも正解がありますが、皆さんのこれからの人生では、間違いなく正解のない難しい問いに次々に直面します。大きな事を言えば、世界中が悩み苦しんでいる差別や弾圧、紛争、貧困格差、そして環境破壊等の問題。個人レベルでは、高校生活、勉学、友情、恋愛、結婚、進学、職業選択なども正解のない問いです。

まとめます。皆さんがこの後歌う最後の合唱、RADWIMPS の『正解』という楽曲の歌詞はこんな風に終わります。『ああ、答えがある問いばかりを教わってきたよ。けれど明日からは、僕だけの正解をいざ探しに行くんだ。また会う日まで。次の空欄に当てはまる言葉を書き入れなさい。』 制限時間はあなたのこれからの人生。解答用紙はあなたのこれからの人生。答え合わせの時に私はもういない。だから採点基準はあなたのこれからの人生。よーい、はじめ!』 この歌で「君たちはどう生きるか?」と皆さんは問いかけてられています。皆さんの学びによる成長発達の道は、ひとり独自の道です。卒業生の皆さん、広い世界に踏み出すスタートラインについた心構えはできていますか?大宮中学校は皆さんの母校です。輝く未来に向けて、この大宮中学校で過ごした日々を心の糧として、力強く、誇り高く、歩んでください。どう歩むかは自由自在。あなた次第です。私は皆さんには三年間挑戦する姿勢を繰り返し伝えてきました。最後にもう一度! 大宮中精神『優しさをもって、夢に向かってしなやかに挑戦を続ける若者であれ』 皆さんの前途に幸多かれと願い、式辞といたします。😊



by 奈菜子

3 学期 キャリアデザイン講座

3

9 (土)

働く人の話を
聴く会(1年)



システムエンジニア、医師、看護師、鶏肉飲食店経営者、理学療法士、作業療法士、貿易業経営者の7名の外部講師をお招きして、働くことの意味を考える授業を実施しました。それぞれの講師から、仕事のやりがい、楽しさや辛さ、学生時代にやっておいたほうが良いこと等のたくさんのアドバイスをいただく時間となりました。講師の方々から、「知識や技術、スキルの修得も大切ですが、職場やまわりの人やお客様との人間関係やつながりをつくる力が大切」というお話がありました。また、看護師の方は、「私は学生時代勉強が不得意で、看護系専門学校でも苦労しましたが、仲間に助けられて国家試験をパスすることができました。国家資格はもっていると、生涯役に立ちます」と話されていました。

3

9 (土)

起業家プレゼン
コンテスト(2年)



三学期の起業家教育の授業では、地域の三店舗(アキッコデシカ、Café ミスポン又、スーパースリー印刷業)のご協力をいただいて、1月から総合的な学習の時間で取り組ん

できました。3~4名のチームとして、魅力的な商品開発に取り組んできました。この日は一年生と保護者対象に商品企画をプレゼンする晴れ舞台でした。体育館でブースを設けて、タブレット PC を使いながら観客に身振り手振りを交えてプレゼンしていました。終了後どの商品が気に入ったかの投票を行った結果、スイーツドリンク部門は ABCCompany の『ぎょうざっち』、ピザ部門はマイケルジャパンの『ココマシュピザ』、デザイン部門は ABCCompany の『Tie-dye パーカー』が選ばれました。昨年度はアキッコデシカさんで期間限定で商品採用されたように、実際に各店舗で商品として採用されるのか楽しみです。三店舗の代表の皆様、コーディネートをいただいた黒澤様、ご協力ありがとうございました。

3

7 (木)

ライフプランニング
講座(2・3年)



(株)ソニー生命の FP の方をお招きして、ライフプランニング(生涯設計)の授業を実施しました。義務教育の中で扱うことが少ないズバリ、『お金』の話です。大宮太郎さんと花子さんという架空の30歳夫婦で、子ども二人家庭をモデルに、生涯の収入と支出を算出して、収支が破綻しない人生を過ごせるかを、講師の進行で生徒がグループで考えました。人生を山登りに例えて、山や登り方によって準備が違うように、どんな生き方をするのも価値観によって自由で、自分の選択で準備(お金の扱い)も異なることを学んでいました。生徒が卒業した後に、先の見えにくい社会で、賢くたくましく生きていくための知識を学び、社会とつながる授業を実施できました。

3

6 (水)

卒業を祝う会 (G組)



卒業式の前に、G組で恒例の『卒業を祝う会』を実施しました。器楽合奏、歌やダンス、先生方の制作した思い出のスライド鑑賞を行いました。最後に、在校生と卒業生がお互いに思い出を伝えあったり、プレゼントを渡したり、お世話になった先生方にも、色紙やプレゼントを贈りました。保護者の方にもたくさん参観していただきました。ご多用の中であありがとうございました。

3

5 (火)

校外学習 (3年)

午前中は霞が関の東京地方裁判所を訪問して、裁判を傍聴しました。公民の授業で学んだ法律制度や裁判の仕組みを、間近に見ることができました。覚せい剤使用で逮捕、拘留された被告人が、警備員に付き添われて入廷して手錠と腰縄を外される生々しい場面や裁判官と被告人のやり取り、検察官と弁護士の会話を聴くことで、実際の裁判の流れに触れることができました。午後は墨田区のスカイツリーを訪問して、墨田の伝統的工芸品の木目込みの製作体験を行いました。



『英語の大宮』 小中連携授業

3

11(月)

英語の絵本読み 聞かせ(3年)



大宮小学校3年生児童を招いて、3年生が英語の絵本の読み聞かせを行いました。声色を変えながら内容を伝えようとしていました。その後、英語を使ったゲームやクイズで小学生と交流を深めました。

3

12(火)

英語でプレゼン 出前授業(1年)



済美小学校6年生の英語の授業に、本校1年生の代表12名が出前授業を行いました。英語の授業で取り組んだプレゼンを発表しました。小学生には一年後にはこれくらいの英語が使えるようになるという見本を見せることができました。

3

14(木)

OEGG 留学生と英会 話体験(1・2年)

東京大学工学系大学院留学生(アジア圏の学生)を15名お招きして、英語でグループワークやプレゼン等で会話をしました。留学生の話から、日本の若者は10年後にビジネスの世界でアジア圏の人との非ネイティブ同士の英会話での交流が重要だと気づきました。



3/4（月）朝礼校長講話『なでしこフェスを盛り上げよう』の話

～地域の小学生、幼児と交流しよう～

今週末、3月9日土曜授業の午後に、『なでしこフェスティバル』が開催されます。コロナ前は秋に『地域音楽交流会』という名称で、こども園、小学校、地域の大人、大宮中の出演者が集い、合唱、器楽合奏等の音楽中心の発表をおこなった長い歴史があります。学校行事ではなく、地域の青少年委員さんが区の子育て事業として運営して、それに生徒会本部も参加していました。それがコロナ禍ですべてストップしました。しかし、歌が無理でもダンスならできたらというので、時期を3月に移した結果、一昨年度は最終段階でコロナ禍がおさまらずに開催を断念。昨年度に規模を小さくして復活させた経緯があります。今年度はコロナ禍の制限がなくなったこともあり、青少年委員さんの運営の元で、大宮中生の実行委員を募って、現在準備中ということです。

今週末の土曜日は、午後2時から大宮中体育館を使って開かれます。プログラムは前日に皆さんに配布されますが、一部を紹介すると、大宮中からはドカン爆笑のコント漫才（うちと松中のコンビ



済美小地域サークルの華麗なフラダンス。魅了されました。

という噂)、1、2、3年生の有志ダンスチーム、軽音楽部の華麗な演奏、そして7日の体育ダンス発表会の選抜チームとなっています。土曜日の午後ですから、外部の習い事等との調整が必要な人もいるでしょう。体育ダンスは岸谷先生と相談して、前向きに挑戦してくれると嬉しいです。さすが中学生のダンスという賞賛を浴びるのは気持ちが良いと思いますよ。小学生は大宮小からは低学年、高学年チームのダンス、学童クラブの演奏、済美小はパフォーマンス芸、ダンスチーム、更にフラダンスチームもあります。更に堀之内子ども園のきりん組からは可愛らしい歌とダンスが出るそうです。進行はプロのDJ音楽付きの本格的なステージになります。



岸谷先生飛び入り参加。出番前は喉カラカラでした

大宮中生は子ども園、小学生のお兄さんお姉さんの立場で、準備、片づけ、運営の中心になります。

出演する人たちだけでなく、会場準備、片づけのボランティアの人手が必要です。PTAの保護者の方も準備していただきますが、まだ募集しているそうなので、友達と誘い合って手を挙げてください。出演者とボランティアの人は当日弁当持参で、お昼を食べてから体育館の準備をします。観客として楽しみたい人は、午後2時に間に合うように再登校してください。「どうせやるなら、達成感と感動・・・」いつものセリフですね！

最後に今回は学校行事ではないので、私服でも大丈夫です。カメラやスマホの持ち込みは制限しませんが、撮影は個人のプライバシー、肖像権も絡みます。勝手に撮ったりネットにアップをしない等、慎重に行動してください。また自転車は遠慮してください。マナーを守って出演する人も、観て応援する人も、90分間大いに楽しみましょう。当日は地域の大人や保護者もお見えになります。『挨拶の大宮中』で盛り上げよう！😊

※当日は200名以上の来場者があり、各団体の演技に90分間大盛況でした。